

# 健康・スポーツ科学「投稿規定」

## 1. 健康・スポーツ科学について

「健康・スポーツ科学 (Mukogawa Journal of Health and Sports Sciences : MJHSS)」(以下, 本誌)は, 健康・スポーツ科学部が発刊する科学雑誌であり, 健康科学・スポーツ科学領域, リハビリテーション科学領域をはじめ, 広く健康科学・スポーツ科学(心理学, 経営学, 人文・社会科学研究なども含んだ総合的な学問分野を指す)に関する研究論文などを掲載し, 人々の Quality of Life (QOL) の向上に資することを目的とする。

## 2. 投稿資格

本誌に投稿できるのは本学教員, 健康・スポーツ科学研究科大学院生・研究生, 本学学生とするが, 編集委員会が必要と認めた場合には, 学外からも投稿を依頼することがある。また, 本学教員との共同研究者, 健康・スポーツ科学研究科, 健康・スポーツ科学科, 健康・スポーツ学科の卒業生も投稿することができる。

## 3. 原稿執筆及び種類

本誌の原稿は別掲の原稿執筆要領にしたがって, 日本語または英語で執筆する。原稿の種類は「総説」, 「原著」, 「速報」, 「資料」, 「報告」などとし, いずれも未発表のものに限る。ただし, 論文の内容に応じて編集委員会から種類の変更を求める場合がある。

本学等の研究倫理審査で承認されていない論文の種類は「資料」または「報告」とする。

英文論文や英文抄録を含む場合は, 必ずネイティブスピーカーの校閲を受けることとする。

### 種類の概要

- A. 総説(Review):本誌の研究分野に関する知見を総合的・体系的にまとめた論文。
- B. 原著(Original investigation):本誌の趣旨に沿った内容で, 新たな知見(独創性)を示した研究であり, なおかつ完成度が高い論文。原著論文は原稿執筆要領に従い, タイトルページ, 英文抄録, I 緒言, II 研究対象, 方法, III 結果, IV 考察, V 謝辞, VI 引用文献などと記載, 図, 図の説明文の順序で構成する。
- C. 速報(Rapid Communication):研究上の価値があると思われる成績が示されており, 方法論上の独創性を主張するために緊急を要する論文。速報は原則として原著論文に準ずる。
- D. 資料(Technical Material):健康・スポーツ科学の実践や教育に何らかの示唆をもたらす, 資料的価値の高いもの。資料には事例研究, 実践報告などを含む。
- E. 報告(Report):独創性など内容において原著論文には及ばないが, その公表が研究, 実践活動に資すると認められ, 方法・結果・考察など適切に記述されている研究論文。

## 4. 査読制度と論文の採否

本誌では査読制度を設ける。編集委員会は投稿された論文の内容に詳しい適任者(査読委員)を2~3名選定し, 査読委員の意見を参考に論文の採否を決定する。なお, 本誌に掲載された論文原稿は, 原則として返却しない。

## 5. 人を対象とする研究及び動物実験に関する研究倫理基準

人を対象とした研究では「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(令和3年6月30日施行、令和4年3月10日一部改正、令和5年3月27日一部改正)」に従い、所属研究機関ないし関連研究機関の研究倫理審査委員会での承認番号を論文中の方法の項に記載する。ただし、スポーツ科学領域学会の現状の審査動向に鑑み、倫理審査を経ていない卒業研究等においては編集委員会で作成した倫理チェックリストによる審査を経て査読に廻すこともある。

また、動物実験については、「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（平成18年文部科学省告示第71号）及び「武庫川女子大学・武庫川女子大学短期大学部動物実験規程（令和2年4月1日改正）」に従うものとする。

## 6. 利益相反(COI)

筆頭著者は当該論文に関係する著者全員のCOI状態に関して、当該研究の遂行や論文作成における利益相反の有無について投稿時に明記すること。記載箇所は参考文献の前とする。

## 7. 論文の投稿

論文の投稿に際しては、原本1部とそのコピー（3部）及び共著者全員が投稿に同意することを示した投稿承諾書（別添）、「総説」以外は投稿論文倫理チェックリストを添えて下記編集委員会宛に送付ないしは、電子データで提出する。また、査読の結果、論文が受理された場合は最終の原本（図、表等を含む）1部とともに電子媒体を下記編集委員会宛に送付ないしは、電子データで提出する。

—原稿の提出先—

〒663-8558 西宮市池開町6-46 武庫川女子大学 健康・スポーツ科学部 編集委員会

Tel : (0798) 45-9524

Mail : handss@mukogawa-u.ac.jp

## 8. 掲載料

掲載料は原則無料とするが、ページの超過分については編集委員会の議を経て定める。

## 9. 著作権

本誌に掲載された論文の著作権は、武庫川女子大学に帰属する。ただし、著作者本人は論文を承諾なしに利用することができる。また、論文は武庫川女子大学リポジトリに搭載し、インターネットを通して公開されるものとする。

付則

この規定は2024年4月1日から施行する。

## 「健康・スポーツ科学」投稿論文倫理チェックリスト

投稿論文の原稿種類が「原著」「速報」「資料」「報告」の場合には、以下の1～10のチェックリストにチェックを入れ（当てはまる□を■に置き換える）、署名（直筆でなくてかまいません）を行った上で、初回投稿時に原稿とともに編集委員長に送付してください。原稿種類が「原著」「速報」の場合は、研究を行うにあたって倫理審査を受けることが責務であり、倫理委員会の承認を得ていることを投稿の条件とします。「資料」「報告」の場合も倫理審査を受け、承認を得ていることが望ましいですが、受けていない場合や承認を得ていない場合には、1～10のチェックリストや原稿の内容を基に、査読に進むか否かを編集委員会にて判断します。1～10のチェックリストにおいて満たされていない項目があるというだけで不採択になることはありませんが、編集委員会から詳しい事情を伺う場合もあります。なお、研究の実施や論文作成にあたっては、リストの項目だけでなく、全般的に倫理的配慮を欠くことのないように努めてください。

1. 所属または関連施設に倫理委員会がありますか。

はい      いいえ

研究を行うにあたりその承認を得ましたか。

はい      いいえ

→上記で「はい」の場合は、項目「6」へ進んでください。

2. 実験や調査に先立ち研究参加者からインフォームドコンセントを得ましたか（インフォームドコンセントには、実験や調査の内容についての説明や、実験や調査から自由に離脱できる旨が記されているものとします。承諾のサインを得ることが望ましいです）。

はい      いいえ

3. やむを得ずインフォームドコンセントが得られない場合は、親や責任者による承諾を得るなどのような代替となる手段をとりましたか。

はい      いいえ

4. 実験参加者や調査対象者に負荷やリスクはありませんでしたか。

あった      なかった

負荷やリスクがあった場合には、その内容やどのような対処・処置を行ったかについて以下に具体的に書いてください。

5. データ収集や処理、論文で紹介する際の匿名性の保障などプライバシーは保障されていますか。

はい いいえ

6. 実験や調査を行う際に必要なデセプション（欺瞞）がある場合（例えば、研究目的を達成するために必要な偽教示の呈示）、デブリーフィング（事後説明）などによる対処を行いましたか。

はい いいえ デセプションなし

7. 論文は著者自身によるオリジナルの論文ですか（オリジナルの論文とは他所に投稿中ではない、または公刊されていない論文を指します。データの再分析が含まれるなど密接に関連する論文がある場合は、参考資料として併せて送付してください）。

はい いいえ

8. 著者が連名である場合、連名者全員から投稿の承諾を得ていますか。

はい いいえ

著者名の順序は貢献度を適切に反映していますか。

はい いいえ

9. 他者が作成した材料やプログラムを用いた場合、その出典は示されていますか。

はい いいえ 転用なし

転用について原著者や出版社からの承諾を得ていますか。

はい いいえ

10. 不適切あるいは差別的な用語や表現がないかチェックしましたか。

はい いいえ

（日本心理学会と日本スポーツ心理学会の機関紙への投稿に際しての倫理チェックリストを一部改変し作成，許諾済）

健康・スポーツ科学部「健康・スポーツ科学」編集委員会 御中  
上記について、間違いがないことを宣誓します。

論文題目

投稿者氏名

年月日 西暦 年 月 日

# 健康・スポーツ科学「原稿執筆要領」

## I. 原稿の様式

1. 原稿は和文または英文とする。原稿はワープロソフト（MS Word を推奨）を用い、A4 判横書きで上下左右に 3cm の余白をとる。和文原稿の場合には、全角文字で 40 字×40 行のページ設定とする。英文原稿の場合には、ダブルスペースで印字する。なお、文字の大きさは、いずれも 11 ポイントとする。和文のフォントは MS 明朝, 英文のフォントは Century とする。原稿の長さは本文（英文抄録あるいは和文抄録, 引用文献等を含む）及び図表等（それぞれ1枚とカウント）を含めて 20 枚以内とする。
2. 和文原稿はひらがな, 新かなづかいとする。
3. 和文の句読点は「,」と「。」にする。英文の場合は, アメリカンスタイルとする（句読点はコーテーションあるいはダブルコーテーションマーク内側に付ける）。
4. 字体（ボールド, イタリック, JIS 外字など）の指定は投稿原稿に赤字で指定する。
5. 図, 表, 写真（原則として電子データ）にはアラビア数字で通し番号を付け, 挿入箇所は投稿原稿右余白に赤字で指定する。図, 表, 写真には表題を付け, 原則として図と写真は下に, 表は上に記載する。また, 他の文献から図, 表, 写真を転載する際は, 必ず転載許可を得なければならない。

図表写真ファイル形式: MS Word, Excel, PowerPoint, PDF, JPEG

6. 和文・英文原稿ともに単位は原則として国際単位（SI 単位）を使用する。また, 記号・符号は国際的に慣用されているものを使用する。数字はアラビア数字を使用する。
7. 和文・英文原稿における略語は初出時の後の括弧に示し, 以下その略語を用いる。
8. 項目の表記は, 順に I, II, III, ..., A, B, C, ..., 1, 2, 3, ..., (1), (2), (3), ..., ①, ②, ③ …とする。

## II. 原稿表紙

1. 表紙には表題, 著者名, 所属（住所）, 連絡先を記入する。その次に英文で表題, 著者名, 所属, 連絡先を記入する。なお, 種別は表紙の左上に記入する。
2. Key words は, 1. の英文連絡先の次に原稿内容がわかるような単語または句を 3~5 個記入する。各 Key words 間はコロンで区切る。
3. 別刷の希望は自己負担（実費）で依頼することができる。
4. 編集委員会との連絡として, 2. の Key words の次に筆頭著者名, 連絡先（住所, 電話番号, fax 番号, e-mail アドレス）を記入する。

## III. 抄録

1. 全ての論文には, 第 2 ページ目に英文抄録（300 語以内）を記載する。

#### IV. 引用文献

1. 引用文献は、引用する箇所の右肩にアラビア数字で上付番号（1, 2,3, 4-7）を付け、引用文献欄に引用順に記載する。本文で著者名を引用する場合は姓のみとする（田中\*, 田中と鈴木\*, 田中ほか\*, Tanaka\*, Tanaka and Suzuki\*, Tanaka et al.\*）。
2. 引用文献欄における著者名は全員の記載を原則とするが、多数の連名の場合は第 3 著者までを記載し、  
第 4 著者以降を和文では “ほか” , 英文の場合は “et al.” とする。
3. 引用文献で学術論文の記載形式は、「著者名. 表題. 雑誌名, 巻 (号), 引用頁-頁, 発行年.」の順とする。なお、雑誌名の略は当該雑誌の形式に準ずる（略誌名の例:The New England journal of medicine → N Engl J Med. [PubMed 参照]）。
4. 引用文献で書籍の記載形式（単著の場合）は、「著者名. 書名. 引用頁-頁, 発行所, 発行所の所在地, 発行年.」とし、編著者の場合「執筆者名. 該当表題 “書名”（編者名）, 引用頁-頁, 発行所, 発行所の所在地, 発行年.」とする。

##### 【引用文献の記載例】

1. 田中繁宏, 垂井彩未. 2 次健康診断での脈波伝播速度計測導入の試み. 学校保健研究, 48(5), 448-452, 2006.
2. 渡邊完児, 中塘二三生, 田中喜代次, ほか. 皮脂厚法による中学生の身体組成評価. 体力科学, 42(2), 164-172, 1993.
3. Ito T, Azuma T, Yamashita N. Changes in forward step velocity on step initiation from backward and forward leaning postures. Osaka R J Phys Educ, 48, 85-92, 2010.
4. Ramsdale SJ, Bassej EJ. Changes in bone mineral density associated with dietary-induced loss of body mass in young women. Clin Sci, 87, 343-348, 1994.
5. Oshima Y, Miyamoto T, Tanaka S, et al. Relationship between isocapnic buffering and maximal aerobic capacity in athletes. Eur J Appl Physiol, 76, 409-414, 1997.
6. 池上晴夫. 運動処方. p.145-151, 朝倉書店, 東京, 1993.
7. 前田如矢. 健康チェックの基本 “健康の科学”（前田如矢, 田中喜代次編）, p.1-6, 金芳堂, 京都, 2003.
8. Mahoney C, Boreham CAG. Validity and reliability of fitness testing in primary school children. “Sport and physical activity –moving towards excellence-” (Williams T, Almond L, Sparkes A, editors), p.429-437, E&FN Spon, London, 1992.
9. 文部科学省. 学校保健統計調査. [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/chousa05/hoken/kekka/1268813.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa05/hoken/kekka/1268813.htm)(2016 年 6 月 24 日にアクセス)

#### V. 校正

初校は著者校正とし、印刷上の誤り以外に加筆・修正・削除は認めない。

# 投 稿 承 諾 書

健康・スポーツ科学 編集委員長殿

論文名 \_\_\_\_\_

上記の論文を「健康・スポーツ科学」に投稿いたします。投稿は、共著者全員の承諾の上で行われること、本論文の内容は刊行物として未発表であり、また他誌に投稿中でないこと、本誌に掲載された論文の著作権は武庫川女子大学に帰属すること、さらに論文は武庫川女子大学リポジトリに搭載し、インターネットを通して公開することに同意いたします。

年 月 日

筆頭著者氏名（自署） \_\_\_\_\_

論文名 \_\_\_\_\_

所属名 \_\_\_\_\_

共著者氏名（自署） \_\_\_\_\_

共著者氏名（自署） \_\_\_\_\_

共著者氏名（自署） \_\_\_\_\_

共著者氏名（自署） \_\_\_\_\_

共著者氏名（自署） \_\_\_\_\_

共著者氏名（自署） \_\_\_\_\_

（共著者が多数の場合、同紙のコピーを使用してください）